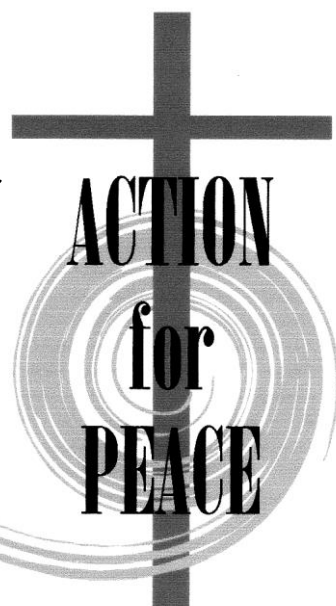


日本バプテスト連盟
憲法改悪を許さない
私たちの共同アクション

ニュースレター

2016 年 3 月 16 日 No. 34

さいたま市南区南浦和 1-2-4 日本バプテスト連盟



選挙権年齢の引き下げに思うこと

恵泉バプテスト教会 会員 千野 千枝子

選挙権の年齢が18歳以上に引き下げられる案が出た時、これは憲法改正に伴う国民投票を政府が有利に進めたいという思惑があるのだと感じました。憲法を改正してこの日本を戦争のできる国にするためには過半数の賛成票が必要です。戦争や戦後の大変な時期を経験している人たちからは、改正に反対する声も多く上げられています。若い世代ほど改正に抵抗感が少ないように感じていました。

私自身はもちろん戦争体験はありませんが、幼少期に渋谷駅を母と歩けば片脚を失くした傷痍軍人がアコーディオンを弾いている姿を見て、戦争は遠い昔のことではないのだと肌で感じることができました。

戦争について見聞きする機会が減り、真の恐ろしさ、残酷さを知る機会が少なく、日常的に戦闘物のゲームや映画に接している若い世代。ましてや国旗掲揚、国歌斉唱が義務付けられ、愛国心（戦争によって傷付けられることのないように、愛すべきこの国を守ろう、という意味ではなく！）を育てて行こうとじわじわと教育現場が変わってきている昨今、若者の意識というものはどんどん憲法改正に向かっているのではないかと？政府の策略にまんまとはまっていくのではないかと・・・そんな大きな不安に包まれました。

しかし、その後安全保障法案可決に向けての動きの中で、法案に反対する大学生たちの群れが生まれました。その群れは大きなうねりとなって、世代を超えて多くの人たちに影響を与え、動かしてくれています。その姿は頼もしく、眩しく、目を見張る

ものがあります。今のこの国の動向にきちんと目を向け、No と言える若者たちがこんなにたくさんいるのだ、そうやすやすと政府の思惑通りにはならないぞと強く励まされています。メディアによっては取り上げてくれないところも多いのですが、こんな風に真剣に考えている若い世代が多くいると知ることによって、では自分はどう考えるのか？と自分自身に向き合うきっかけが与えられていると感じます。ツイッターなどを見ると、このような群れに対して攻撃的な意見を持つ者もまた多いことを知っていますが、両方の意見を目にして、今まで政治に関心を持たなかった人々も含めひとりひとりが考えていけたらと思います。同世代の動きは若い世代への影響力も大きいことでしょう。

我が家には、今年の6月国政選挙直前に18歳になる息子がいます。教会ではまだ中高生クラス。成人する前に選挙権が与えられるのは早すぎるのではないだろうか？と思わないでもないのですが、世界の9割が18歳からであることを考えると、10代の意見が国政に反映されるというのも悪くはないのかもしれない。

息子は選挙に行くことは決めている様子。若い世代の投票率が上がることが、政治家の関心を若い世代に向けさせることになるのだと考えているようです。若い世代がどこに投票するのかが政治家にとって重要になってくれば、もっとその層を意識したマニフェストを掲げるようになるでしょう。

クリスチャンではない息子がどのような考えを持ってどこに一票を投じるかはわかりません。親が安保法案改正に反対してデモに参加していることは伝えていますが、夫婦で、教会で、話題にしていることも耳にしているはずなので、あとはよく考えて自分で決めてくれればそれでよいと思っています。高校では世界史を選択し、近代史を興味深く学んでいるようです。世界の戦争の歴史についても学ぶ中でいろいろ思うことがあるようで、時々話してくれます。

友だちと選挙権の年齢が引き下げられたことや政治について話すことは無いようで、それはとても残念ですが、それは母親も同じ。教会以外の友だちと意見交換することは稀です。どんな場でももっと日常の話題として会話できれば良いと思いますが、日本人の気質なのか、それはとても難しいことだと感じています・・・

年齢引き下げにより新たな有権者は24万人。全有権者の2%になるそうです。小学校、中学校で今後もっと政治や選挙のしくみを教え、子どもの時から関心が持てるような教育をしてもらいたいものです。

10年後、20年後の未来のために、政府の思惑通りにはならず、ひとりひとりが冷静に判断して見極め、大切な一票を投じることができるよう期待を持って若い世代を見守っていきたいと思います。

戦争と教会——ナチズムとキリスト教

泉バプテスト教会 会員 岡村 千鶴子

2月26日、恵泉教会に於いて西南学院大学で42年間教職にあられた河島幸夫さんをお迎えして集会がもたれました。時宜にかなったテーマであったためか金曜日の夜にもかかわらず95名の方の参加がありました。

ドイツの教会が戦争を支持し、後にはナチス政権に迫害され、多くの人の命を犠牲にしてまでも向き合わなければならなかった問題にどのように取り組んだのでしょうか？ 宗教と国家が結びつき、愛国心と戦争熱とキリスト教信仰が混同してしまったこと。ヒトラーという独裁的指導者がユダヤ人排斥を推進し、ドイツ人のみが同胞であるとの極端な国粋主義によってナチス系プロテスタント教会が台頭。こうした中、ヒトラーへの意見書を提出して、教会弾圧・ユダヤ人迫害・強制収容所・民族や総統ヒトラーの崇拜への批判を行ったキリスト者がいました。

第二次世界大戦敗戦によりナチス暴力支配が崩壊した5ヵ月後に罪責宣言を行ってあります。敗戦と共に国家が消滅したドイツは4年間占領地域だったので政府も憲法も持たず、組織としてあるのは教会のみでした。その教会がいち早く罪責を宣言し、国家よりも前に和解と平和の道を踏み出したことはとても印象的でした。

時にユーモアを交えてわかりやすくお話しを伺いました。河島さんのお話しを通して、ドイツのプロテスタント教会が、ナチス体制の下での受難と闘いの経験を、教会の本質的転換の契機とすることができたという姿を知ることができました。安倍首相は在任中に憲法改正（悪）を実現すると公言しています。私たちの知りたい情報が隠され、報道にも政府の権力が及ぼうとしている中で今こそ否と表明することが求められていると強く思われました。

全国各地、地方連合や地区、近隣教会などで、集会や学びの場をつくみましょう！

●予定されている集会のご案内●

●4月21日(木) 午後7時～ 日本バプテスト浦和キリスト教会
公開講演会 SEALDs 奥田愛基さんを迎えて
SEALDsの活動を通して…(仮題)

主催：憲法アクション担当者会

●4月24日(日) 午後2時30分～4時30分
日本バプテスト浦和キリスト教会
講演集会 国家／社会とキリスト教会
ドイツ福音主義教会連盟(EKD)から
ウルリッヒ・リリエ氏を迎えて

主催・憲法アクション担当者会

講演集会 **国家／社会とキリスト教会**

日時 2016年4月24日(日)
午後2時30分～4時30分
会場 日本バプテスト浦和キリスト教会

講師 **ウルリッヒ・リリエ氏**
(Ulrich Lillie)

ドイツ福音主義教会連盟(EKD)のドイツ語圏で講義し、1977年キリスト教社会政治学専攻、神学博士の学位取得。その後、ドイツ福音主義教会連盟の連盟本部キリスト教社会学研究所で、40年間勤務。その後、2013年より現在は、2008年より福音主義のグローバル化を推進するための活動に専念して欧米各地を巡回中。

2014年よりキリスト教プロフェッサール(教授)に就任。

コメンテーター **朴 恵那 氏**
日本バプテスト連盟憲法研究所所長

第二次世界大戦後、ドイツの社会構造によって戦争責任の概念を元にした「戦争犯罪法」がヨーロッパで制定された。ドイツの福音主義教会連盟(EKD)は、この法律をめぐって、国家の責任をめぐって議論を交わしている。また、この法律が、戦争犯罪の責任をめぐって議論を交わしている。また、この法律が、戦争犯罪の責任をめぐって議論を交わしている。

●主催 日本バプテスト連盟 憲法改悪を許さない私たちの共同アクション

●5月3日(火) 憲法記念日
午前10時～12時 恵泉バプテスト教会
憲法フェスティバル2016
6人のリレートークと参加者の歌でつなく集会
共催：東京連合社会委員会・北関東連合社会委員会・
神奈川連合社会部・憲法アクション担当者会

●5月3日憲法記念日に前後して、理事会のもとにある平和宣言推進担当者会と憲法アクション担当者会が共同し、現地連合の担当者などと協力して、全国のいくつかの地域での集会を企画準備中です。現在のところ、札幌、仙台、浦和、東京、岐阜、大阪、広島、福岡等のエリアでの集会を願い、アプローチをおこない、また準備に取り組んでいます。

また今年、最近リリースされた映画「戦争のつくりかた」などの上映も取り入れて集会を企画していきたいと願っています。

集会開催を願われる場合、プログラムや講師に関する相談をお受け致します。場合によっては開催費用の助成なども可能です。お問い合わせは、日本バプテスト連盟(担当：吉高)までどうぞ。

夏に予定されている参院選、「改憲ステージ」としては、最大の山場です。できる限りの力と祈りを合わせ、この歴史の中を生き抜いてまいりましょう。

シャローム！

憲法改悪を許さないバプテスト共同アクション
憲法フェスティバル
2016

2015年版、改憲を反対する憲法学者(憲法学者)が、この法律に反対している。この法律により、日本は、戦争犯罪を犯すことになる。

1977年、この法律が制定された。日本は「戦争をしない」ことを宣言した。

2015年版、改憲を反対する憲法学者(憲法学者)が、この法律に反対している。この法律により、日本は、戦争犯罪を犯すことになる。

2016年5月3日(火)
午前10:00～12:00
恵泉バプテスト教会
主催：日本バプテスト連盟「改憲を許さない私たちの共同アクション」

●主催 ●
日本バプテスト連盟憲法改悪を許さない私たちの共同アクション
● 北海道連合社会委員会 社会委員会
● 東北連合社会委員会 社会委員会
● 関東連合社会部 社会部
● 神奈川連合社会部 社会部
問い合わせ ● 日本バプテスト連盟 048-882-1101